

令和5年度

自己評価報告書

令和6年5月31日

九州医療専門学校

全科共通

教育理念、目的

| | |
|------|--|
| 教育理念 | 人に寄り添う教育と心身の健康を育む、文武両道の精神のもと、医療・福祉のスペシャリストを育成する。 |
| 目的 | 本校は教育基本法、学校教育法および私立学校法に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、各種資格取得に必要な専門的知識及び技術並びに一般教養に関する教育を行い、もって有能な人材を育成することを目的とする。 |

教育理念・目的・育成人材像

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 本校は、開学当初より校訓、教育理念、教育目的を定め、学生便覧にも記載しており、育成人材像も医療・福祉のスペシャリストと明確に示している。学生・保護者に対しての周知活動については、入学式、卒業式、オリエンテーション、保護者会などで周知はしているが、社会への周知としてホームページ等への掲載も考えなくてはいけない。 |
| 取組状況と その分析 | 校訓、教育理念、教育目的、育成人材像は明確に定めているが、周知の方法については検討の余地がある。 |
| 今後の 改善方策 等 | 式典、オリエンテーション、保護者会等における口頭での周知と共に、パンフレット等を用いた周知、インターネットを利用した周知など、周知方法の拡張を進めていきたい。 |

| | | |
|-------|--|-----|
| | 教育理念・目的は、定められているか | 3.8 |
| 1 | 教育理念等はそれぞれ定められているか | 4 |
| 2 | 教育目的はそれぞれ定められているか | 4 |
| 3 | 学生・保護者に対して教育理念・目的・育成人材像・特色などが、周知されているか | 3 |
| 4 | 各学科の教育理念・教育目標・育成人材像は社会のニーズに対応できているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 教育理念は開学時から定めており、学生便覧にも掲載している。 2. 教育目的は開学時から定めており、学生便覧の総則に掲載している。 3. 入学式、卒業式、オリエンテーション、保護者会の機会を利用し、教育理念・目的・育成人材像・特色の周知を図っている。 4. 本校の教育理念・教育目標・育成人材像は、教育基本法、学校教育法および私立学校法に基づいており、社会のニーズに対応できている。 | |

歯科衛生士科

令和5年度の目標と計画

| | |
|----|--|
| 目標 | <p>(重点目標)</p> <p>医療現場のニーズの変化に対応し、多職種と連携するためにも、知識・技術力の向上に取り組む意欲を持ち、また、医療人として豊かな人間性、社会性を身につけた歯科衛生士を養成することを目指す。</p> |
| 計画 | <p>(目標達成のための具体的な事業計画、行動計画)</p> <p>高齢者施設実習と他の障害者施設、大学病院、一般歯科等での実習と統合的な学習ができるように実習を計画した。</p> |

教育活動

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | カリキュラムは、学生便覧、シラバスに示されており、教育活動を遅滞なく行った。 |
| 取組状況と その分析 | 年間授業単位数と、試験及び進級・卒業については、学生便覧に明確に定めており、学生に周知されている。また保護者にも保護者会を通して説明が出来ている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 専任教員は質の向上のため学会・研修会には積極的に参加している。また、専任教員は教育学会に所属し、他自分自身の専門性を高めるための学会にも所属して自己研鑽を行っている。 今後も引き続き専門性を高め、学生に還元できるよう努力を怠らない。 |

| | 教育活動 | 3.1 |
|-------|---|-----|
| 1 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしているか | 4 |
| 2 | 教育課程（カリキュラム）は、体系的に編成され事前に学生に開示されているか | 4 |
| 3 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 4 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 1 |
| 5 | 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいるか | 4 |
| 6 | 資格・免許取得のための指導体制がとられているか | 4 |
| 7 | 教員数は関係法令等を満たしているか | 2 |
| 8 | 教員研修会等への参加を奨励・支援しているか | 3 |
| 9 | 校内研修（O J T）を行っていますか | 1 |
| 10 | 企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか | 3 |
| 11 | 企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 学生便覧、シラバスに明記している。 2. 教務会議でカリキュラムは十分検討しており、内容はシラバスに明記している。 3. 国家資格取得が目標である学科なので、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが設定されており、実践的な実習を工夫して教育している。 4. 実施していない。 5. 国家試験を意識したカリキュラムになっている。 6. 模擬試験等のフィードバックや成績不良者の補習体制をとっている。 7. 専任教員5人で満たしている。 8. 日本歯科衛生学会等の学術大会への参加や歯科衛生士専任教員講習会に参加している。 9. 今年度は行っていない。 10. ハローワークによるジョブセミナーを行った。 11. 小学校、保健所、歯科診療所、大学病院等インターンシップ等を実施している。 | |

学修成果

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 国家試験合格を最終目標として、本校独自の国家試験対策を行っている。2023年度は2名の不合格者を出した。。 |
| 取組状況と その分析 | 就職は、3年夏季休暇から九州を除いた他府県については就職活動を行っている。九州内は10月末に臨床実習が終了してから、就職活動を行っている。求職のミスマッチングを防ぐ為、数件歯科医院見学を行った中から一つの歯科医院の面接を受けている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 比較的早期の段階での離職率が高くなっているため、教員間での改善対策に今後力を入れていく。国家試験に対しては、年々学力が低下していく中で、対策を適宜見直して対応していく。今後100%を維持していく為引き続き国家試験対策を行っていく。 |

| | 学修成果 | 3.8 |
|-------|--|-----|
| 1 | 国家資格取得率向上のための対策等を講じているか | 4 |
| 2 | 就職率の向上が図られているか | 4 |
| 3 | 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言する体制があるか | 4 |
| 4 | 退学率の低減が図られているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 全国模擬テストを受験させて各学生の実力を学生に把握させ、成績不良の学生には補習を行っている。 2. 夏期休暇から歯科医院見学等を行うよう指導しており、学生は複数の歯科医院を見学して、就職を決めている。また、就職説明会を開催し、就職への意識付けを行った 3. 就職担当の教員が学生の希望を聞いてアドバイスしている。 4. 成績不良者やコミュニケーション力に悩む学生が多くなっているので、個別面談を実施している。 | |

学生支援

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 歯科衛生士科は担任制で、学生一人一人に対して指導をしており、教員と学生の距離も近く質問や相談も気軽にできる環境が整っている。体調不良者、成績不振者については早期に学生および保護者面談を行い問題解決を図った。 就職支援については、歯科医院を募って就職説明会を全学年対象に実施している。ハローワーク職員の説明や接遇マナーそして、就職活動の一連の流れの説明を行い周知出来ている。 |
| 取組状況と その分析 | 本校は担任制により学生指導を行っている。担任とクラスマウム（アプリケーションソフト）でつながっており相談内容に対して迅速に対応し問題解決に努めている。 ハローワークの公的支援制度や、歯科医院からの奨学金紹介、学校独自の奨学金制度等もあり、金銭的にも支援が整っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 今後は更に中学高校との連携によるキャリア教育・就職教育の取り組みを増やす必要がある。就職については、ネットで登録する就職派遣でのトラブルも多くなってきている為その対策も必要と思われる。今後情報ツールの活用を進めなければならない。令和6年度にも就職説明会を開催して、就職支援の一助とする |

| | 学生支援 | 3.4 |
|-------|---|-----|
| 1 | 就職・進路等に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| 2 | 就職説明会等を開催しているか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励しているか | 4 |
| 3 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 4 | 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか | 4 |
| 5 | 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか | 4 |
| 6 | 学生に対し、定期健康診断を実施しているか | 4 |
| 7 | 遠隔地からの学生のための寮を整備したり、またはアパート・マンションの紹介等をしているか | 2 |
| 8 | 保護者・保証人との連携は図られているか | 3 |
| 9 | 卒業生への支援体制はあるか | 2 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 就職・進路等について担任教員が対応することを基本とし、教務会議にて報告審議している。 2. 就職説明会を実施した。ハローワークからの説明時間を設けている。カリキュラムの基礎分野にコミュニケーションを設けている。 3. 学生の相談は担任が主に行っているが、問題があるときには教務会議にて検討している。 4. オリエンテーション時に説明している。 5. KACサポート制度として各種の学費減免制度がある。また、その他の奨学制度についても紹介している。 6. 胸部レントゲン、内科検診を実施している。 7. 寮の整備は行っていない。 8. 保護者会を開いて、学科の方針説明、学生の情報共有を行っている。 9. 機会があれば同窓会を通して全卒業生を対象に講習会を行うが、今年度は行っていない。 10. 複数の高校からキャンパス見学を受け入れ、キャリア教育・職業教育に資している。 | |

教育環境

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 本物の歯科医院さながらの実習室をはじめ、実験室等の施設は整えており、実践的な知識と技術を身につけることができる。劣化した設備は、年度末に予算案を組み計画的に交換し教育拡充に努めている。実習は解剖実習、大学病院2カ所、高齢者・障害者施設、保健センター、そして信頼のある歯科医院に実習先としてお願いし、高い即戦力を育てることが出来ている。 |
| 取組状況と その分析 | 臨床実習は学生の居住地を考えて実習を組んでいる。問題が生じた際は臨床実習先と密に連携をとり問題解決できるよう学生指導を行っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 今後も教育上必要な設備・教育用具は定期的に点検し早期に部品交換を行ったり、計画的に購入し学生教育に支障がないように努める。 実習では定期的な会議を行い、更に充実した実習になるように今後も密に連絡をとっていく。 |

| | 教育環境 | 3.3 |
|-------|---|-----|
| 1 | 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか | 3 |
| 2 | 校内外の実習、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| 3 | 防災・安全管理に関する体制は整備されているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合して十分に設置・配置されているが、順次更新も必要と考えている。 2. 校内外の実習、インターンシップは十分な教育体制をとっている。 3. 毎年1回消防訓練を行い、避難通路確認、消火器の使用方法確認等行っている。 | |

学生募集と受入れ

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 歯科衛生士の職業紹介をはじめ、本校の特色をパンフレットやHP、インスタグラムで分かりやすく作成し、ガイダンス・オープンキャンパスでは体験実習を通して職業理解に努めた。また夏休みにスペシャルオープンキャンパスを行い学生確保に努めた。 |
| 取組状況と その分析 | 年間を通してオープンキャンパスの回数も多くして、参加生徒と保護者との繋がりを密に出来るよう努めた。また在校生にも協力してもらい手伝ってもらっている。また社会人の受入にも力を注ぎ、給付制度・奨学金制度も引き続き継続して行う。 |
| 今後の 改善方策 等 | 今後は、高校3年生だけでなく、高校1・2年・中学生にも視野をひろげて広報活動を行いながら学生確保にむけて対策を練る。 |

| | 学生の受け入れと募集 | 4.0 |
|-------|---|-----|
| 1 | 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか | 4 |
| 2 | 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか | 4 |
| 3 | 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置しているか | 4 |
| 4 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |
| 5 | 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか | 4 |
| 6 | 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいるか | 4 |
| 7 | 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか | 4 |
| 実施状況等 | 1.会場ガイダンス、高校主催のガイダンス、高校訪問も担当者が随時行って情報提供している。 2.高校からの学校見学、体験実習の要請を受けて実施している。オープンキャンパスも10回以上行って、教育内容・施設設備等を紹介している。 3.インターネット、電話等での問い合わせは事務局が受け、該当する各科の事務職員等が対応している。 4.近隣の専門学校と比べて同等の学納金である。 5.シニア優遇制度、シングルマザー・シングルファザー優遇制度、有資格者制度などを設けている。 6.「高等教育の修学支援新制度」の対象校である。歯科衛生士科は「専門実践教育訓練給付」を利用できる。 7.KACサポート制度、KAC奨学金など学校独自の経済的支援を行っている。 | |

社会貢献・地域貢献

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | コロナ禍以降、社会貢献・地域貢献は感染リスクもあるので、ほとんど行っていない。 |
| 取組状況と その分析 | コロナ感染リスクを考慮して、積極的なボランティア活動はしていない。 |
| 今後の 改善方策 等 | 歯科衛生士の特徴を生かした社会貢献・地域貢献を考えていきたい。 |

| | 社会貢献・地域貢献 | 1.7 |
|-------|--|-----|
| 1 | 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 1 |
| 3 | 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っているか | 1 |
| 実施状況等 | 1. 施設を利用した貢献は行っていないが、歯科衛生学科の教育資源（口腔ケア用具等）を利用して、「歯と口の健康週間」等の社会貢献・地域貢献を行っている。 2. 清掃ボランティアの参加等を奨励しているが、今年度は行っていない。 3. アカデミー学園の福祉関連施設でのボランティアがあるが、今年は行っていない。 | |

歯科技工士科

令和5年度の目標と計画

| | |
|----|--|
| 目標 | (重点目標) 積極的に知識やスキルを習得する意欲を持ち続け、即戦力として歯科医師に認められ、また、社会から信頼される歯科技工士の育成を目指す。 |
| 計画 | (目標達成のための具体的な事業計画、行動計画) 「基礎力」を育成し、基本的な補綴物を正確に製作することによって、ハイレベルな補綴物まで製作できるような実習指導を行い、自主的に専門基礎科目と専門科目の関連性を意識した知識の習得ができるように指導を行う。 |

教育活動

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 資格取得のためのカリキュラムは概ね良好である。 修業年限に対して実技的履修課題が多く、個人的技術差を無くすのは難しいが教育到達レベルには達していると思われる。校舎移転に伴いzoom用カメラを講義室に設置を行った。 |
| 取組状況と その分析 | 修業年限に対し学生の能力低下がみられ実技に関しては昨年より一部難しい状況である。（国家試験は2年生に進級した学生は全員受験させた。） 歯科メーカー（モリタ・クラレノリタケ・ノーベルバイオケア）と連携授業を行っている。 法令上本科の学生は校外実習は出来ない為、専攻科でインターンシップを行っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 技術の個人差を少なくする為に、1年時の基礎力の充実が課題であるので実技補講を個人に合わせて効率の良い指導を行い学生のやる気を無くさない方法を考える。 通信制高校からの入学生に対してのzoom講義授業を検討する。 |

| | 教育活動 | 3.7 |
|-------|--|-----|
| 1 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしているか | 4 |
| 2 | 教育課程（カリキュラム）は、体系的に編成され事前に学生に開示されているか | 4 |
| 3 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 4 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 1 |
| 5 | 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいるか | 5 |
| 6 | 資格・免許取得のための指導体制がとられているか | 4 |
| 7 | 教員数は関係法令等を満たしているか | 5 |
| 8 | 教員研修会等への参加を奨励・支援しているか | 3 |
| 9 | 校内研修（OJT）を行っていますか | 3 |
| 10 | 企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか | 4 |
| 11 | 企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 学生便覧、シラバスに明記している。 2. 教務会議でカリキュラムは十分検討しており、内容はシラバスに明記している。 3. 国家資格取得が目標である学科なので、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが設定されており、実践的な実習を工夫して教育している。 4. 実施していない。 5. 国家試験合格を意識したカリキュラムになっている。 6. 朝テストを行い成績不良者の弱点補強を放課後行っている。また、実習の進度が遅れた学生にも放課後補習を行って対応している。 7. 専任教員4人で満たしている。 8. R4年度の日本歯科技工学会等の学術大会等は中止またはオンライン研修であった。 9. 経験の浅い教員に対しては実習項目を選択して行っている。 10. 歯科メーカーと連携授業を行っている。 11. 歯科技工士科は専攻科を併設しており本科の学生は免許を持っていないので学外において技工に携わる実習が出来ない為、専攻科の学生がインターンシップを行っている。 | |

学修成果

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 職員間での学生の情報を共有し対策等を講じれるようにする必要があると思われる。 学習指導が必要な学生には「基礎力」向上の為、1年次より自主的な学習指導を強化する。 学習指導のみならず、生活指導が必要な学生が多々みられる為、保護者との連携を行い良い方向へ進めることが出来ていると思われる。 |
| 取組状況と その分析 | 2年生進学時より国家試験対策の為、ほぼ毎日実技・学科の試験を実施しており、また学科において合格点に満たない学生にはその日のうちに補講を行っている。 求人票閲覧は自由にでき、興味のある企業には見学に行くように促している。 定期的に個人面談を行い随時確認を行っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 国家試験対策は現状を維持し、学生の学力低下に関してはカリキュラムの見直し・改善を行う必要がある。 悩みを抱えている学生の早期発見に努める為、担当職員と相互理解する必要があり、個人面談や必要に応じて専門医によるカウンセリングを行う。 |

| | 学修成果 | 4.0 |
|-------|---|-----|
| 1 | 国家資格取得率向上のための対策等を講じているか | 5 |
| 2 | 就職率の向上が図られているか | 4 |
| 3 | 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言する体制があるか | 4 |
| 4 | 退学率の低減が図られているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 2年生では国家試験対策の為、ほぼ毎日実技・学科の試験を実施している。学科で合格点に満たない学生にはその日のうちに補講を行っている。 2. 求人票を開示し、見学に行くよう指導している。 3. 定期的に教員が個人面談を行いアドバイスしている。 4. 成績不良者やコミュニケーション力に悩む学生が多くなっているので、遅刻欠席が目立ってきたら個人面談及び内容によっては保護者と連絡を行っている。通信制高校から入学した学生は個人差が激しく出席状況に問題があるため課題消化が難し状況にある。 | |

学生支援

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 学生支援は概ね適切に対応しているが、総合的な学生支援の目的で4年度を保護者会を開催したが参加者が少なかったため5年度は問題のある学生のみ保護者との面談を行った。問題のある学生に対しては保護者を交えた学生支援を考えしていく必要がある。 |
| 取組状況と その分析 | 2年生は就職に対し意識付けの為、企業見学を実施。2年生・専攻科に対し企業説明会を開催した。 個人面談は定期的に実施しており、カウンセリングが必要と思われる学生にはカウンセリングを勧めている。 在学生に対して公的支援制度・企業奨学金等の制度については更新や取入れがあった際、随時説明を行った。また、企業による専攻科奨学金が好評である。 |
| 今後の 改善方策 等 | 保護者説明会に関しては、6年度は全体保護者会を行う予定であるが、特に保護者との連携が必要な学生に関して随時連絡を取る方法が良いと思われる。 |

| | 学生支援 | 3.8 |
|-------|---|-----|
| 1 | 就職・進路等に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| 2 | 就職説明会等を開催しているか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励しているか | 4 |
| 3 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 4 | 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか | 4 |
| 5 | 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか | 4 |
| 6 | 学生に対し、定期健康診断を実施しているか | 4 |
| 7 | 遠隔地からの学生のための寮を整備したり、またはアパート・マンションの紹介等をしているか | 3 |
| 8 | 保護者・保証人との連携は図られているか | 4 |
| 9 | 卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 企業見学を行っている。 2. 企業説明会を開催している。 3. 学生の相談は個人面談を行っており、新入生に対しては全員一度専門家によるカウンセリングを行っている。 4. オリエンテーション時に説明している。 5. KACサポート制度として各種の学費減免制度がある。また、企業奨学制度についても紹介している。 6. 胸部レントゲン、内科検診を実施している。 7. 寮の整備は行っていないが遠方の入学生に対しては事務局から情報を提供している。 8. 欠席者に対しては随時保護者と連絡は取っている。5年度は全体保護者会は行わなかった。 9. 卒業生に対する支援は望んだ就職先を新たに紹介する。 10. 高校からキャンパス見学の受け入れに対しキャリア・職業教育に資している。 | |

教育環境

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 設備、教具等に関しては法令に適合しているが、順じ新しい器材に入れ替えが望ましい。R6/3月に移転した際に普通教室にZoom用カメラを設置し通信制高校からの入学生つまり登校に難がある学生に対しての環境が良くなった。 |
| 取組状況と その分析 | 歯科用CAD/CAMを2機種設置し、最先端の授業を行っている 技工士会主催の技工コンテスト等がコロナの影響で開催されなかった。 インターンシップでは、専攻科学生が現場で臨床体験実習を行っている。 年に1回消防訓練を行い、避難通路確認、消火器の使用方法確認等行っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 校舎移転を行って施設は新しくなったので今後は教具器材等の教育環境等の改善を行いたい。 |

| | 教育環境 | 4.3 |
|-------|---|-----|
| 1 | 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか | 5 |
| 2 | 校内外の実習、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| 3 | 防災・安全管理に関する体制は整備されているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合しており、教育上十分に設置・配置されているが、器材によっては買い替えが必要と思われる。 2. 校内の実習は十分な教育体制をとっているが校外に関しての企業見学は大手の和田精密歯研1社のみ行った。 3. 令和5年度は消防署の都合で消防署は不参加の消防訓練を行い避難通路確認、消火器の使用方法確認のみ行った。 | |

学生募集と受入れ

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 受動的な活動に関しては、今までの経験等を踏まえてプラスアップ出来ているように思う。専攻科進学者の企業奨学金を多くの学生が利用している。今後は、こちらから高校生や社会人に対してのアプローチを強化する必要がある。 |
| 取組状況と その分析 | オープンキャンパスの参加者が少ない。高校生への周知活動を強化する必要がある。奨学金を受け取る学生の増加が増えているので、入学時の器材・材料購入が負担となっている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 積極的に職員が高校へ訪問し、職業・学科の説明と出張授業の提案を行っていきオープンキャンパスへの参加を促していく。 学生の購入品目を減らすために学校備品を増やすことなど検討する必要がある。 |

| 学生の受け入れと募集 | | 4.0 |
|------------|---|-----|
| 1 | 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか | 4 |
| 2 | 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか | 4 |
| 3 | 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置しているか | 4 |
| 4 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |
| 5 | 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか | 4 |
| 6 | 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいるか | 4 |
| 7 | 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 会場ガイダンス、高校訪問も担当者が随時行って情報提供している。 2. 複数の高校から体験入学の要請を受けて実施している。オープンキャンパスも10回以上行って、教育内容・施設設備等を紹介している。 3. インターネット、電話等での問い合わせは事務局が受け、該当する各科の事務職員あるいは学科長等が対応している。 4. 近隣の専門学校と比べて同等の学納金である。 5. シニア優遇制度、シングルマザー・シングルファザー優遇制度、有資格者制度などを設けている。 6. 「高等教育の修学支援新制度」の対象校である。 7. KACサポート制度、KAC奨学金、技工士科企業奨学金など学校独自の経済的支援を行っている。 | |

社会貢献・地域貢献

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 学科としては献血に協力したいが、希望者が少なく4年度から行っていない。 |
| 取組状況と その分析 | 歯科関係企業と協力し福祉施設の利用者さんの義歯の抗菌作業に取り組んでいたが、コロナ感染防止の為に前年度から行っていない。(専攻科) 献血に取り組むよう奨励している。地域との交流情報が無いので地域貢献は厳しい。 |
| 今後の 改善方策 等 | ボランティアの要請があれば活動に協力するように奨励を行う。 |

| | 社会貢献・地域貢献 | 2.0 |
|-------|--|-----|
| 1 | 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 2 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 2 |
| 3 | 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っているか | 2 |
| 実施状況等 | コロナ感染流行以降は行事ごとに参加することがなくなり活動はほぼ行っていない。 | |

令和5年度の目標と計画

| | |
|----|--|
| 目標 | (重点目標) 人に寄り添い心身の健康を維持・増進させができる知識・スキルを修得させ、即戦力となる鍼灸師のスペシャリストを育成する。 |
| 計画 | (目標達成のための具体的事業計画、行動計画) 学生の基礎学力の確認を行い、および個人に適した授業方針を教員間で協議し、修学に遅れの出ない授業を行う。必要に応じて補習を行い知識や技術を確実なものにする。また、より深い知識・技術を求めるものには臨床研修科と協力し、研究会・セミナー等を行う。 |

教育活動

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 修業年限に対応した教育レベル到達は個人差が大きく達成に困難を生じた。 教育課程（カリキュラム）は、体系的に編成され入学前に学生に周知されるようになり、自ら内容を把握する学生が増え教育効果が高まっている。 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムやその教育方法の工夫・開発などが行われ、卒業生は即戦力として現場で活躍している。 客観的な授業評価の実施に取り組んだ。 |
| 取組状況と その分析 | 教育レベル達成に関しては授業のみでは困難な場合が多く時間外の指導を行っている。 時間外の指導を行うなかで、通常の授業形式での指導ではあまり効果がみられなかつた。 個別指導を増やすことにより不足を補うことができた。 |
| 今後の 改善方策 等 | 教育到達レベル・教育課程を明確にし、事前に個々の学生に伝え確実に把握させる。 客観的で正確な授業評価の実施・評価体制の確立を目指す。 課外の教育活動は継続して行うが、個人指導の場を増やし、全員の目標達成を目指す。 |

| 教育活動 | | 3.3 |
|-------|--|-----|
| 1 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしているか | 4 |
| 2 | 教育課程（カリキュラム）は、体系的に編成され事前に学生に開示されているか | 4 |
| 3 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 4 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 3 |
| 5 | 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいるか | 4 |
| 6 | 資格・免許取得のための指導体制がとられているか | 4 |
| 7 | 教員数は関係法令等を満たしているか | 3 |
| 8 | 教員研修会等への参加を奨励・支援しているか | 3 |
| 9 | 校内研修（O J T）を行っていますか | 2 |
| 10 | 企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか | 3 |
| 11 | 企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか | 2 |
| 実施状況等 | 1. 学生便覧、シラバスに明記している。 | |
| | 2. 教務会議でカリキュラムは十分検討しており、内容はシラバスに明記している。 | |
| | 3. 国家資格取得が目標である学科なので、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが設定されており、実践的な実習を工夫して教育している。 | |
| | 4. 学生アンケートを実施している。 | |
| | 5. 国家試験を意識したカリキュラムになっている。 | |
| | 6. 進度が遅れた学生に対し、放課後に少人数補習を行って教育レベル到達の達成を図っている。 | |
| | 7. 専任教員全員を鍼灸師で固めたい。 | |
| | 8. 日本鍼灸師会への参加を毎年行っている。 | |
| | 9. 新任教員を対象に、新年度より開始予定である。 | |
| | 10. 小郡市、東京理科大学と共同研究契約を結び、連携教育を行っている。 | |
| | 11. 附属鍼灸治療院に多くの外来患者が来られるので、校外実習はあまり行っていない。 | |

学修成果

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 感染症の影響もほぼなくなり、学生と直接向き合って国家資格取得対策や実技実習を十分に行えるようになった。国家試験全員合格と即戦力の養成に繋がった。 就職率の向上については学園と協力し目標を達成している。 |
| 取組状況と その分析 | 国家試験対策は成績基準を設け、成績不十分な者に対しては強制的な補習を行った。しかしながら近年、仕事をもつ学生が増え徹底することができなかった。一方、補習受講可能な学生に対しては彼らの要望通り、十分な指導を行った。求人票はすべて教室内に掲示し情報提供を行った。個々への対応を増やすことにより、退学率の低減につながった |
| 今後の 改善方策 等 | 国家試験対策は現在の内容を継続することにより効果が期待できる。 就職率の向上を目指すため、教員の指示により定期的に求人情報を確認させ、職場見学を促す。 学生との距離を更に縮め面談等を行い、学習面、生活面での問題点を拾い上げて、退学率の低減に努める。 |

| | 学修成果 | 3.8 |
|-------|--|-----|
| 1 | 国家資格取得率向上のための対策等を講じているか | 4 |
| 2 | 就職率の向上が図られているか | 4 |
| 3 | 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言する体制があるか | 3 |
| 4 | 退学率の低減が図られているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 模擬試験等に成績基準を設け、成績不十分な者に対しては強制的な補習を行った。 2. 求人票はすべて教室内に掲示し情報提供を行い、事業所とも連絡を取り合っている。 3. 就職担当の教員が活動状況等を把握し、他の教員も個人的な指導・助言を行っている。 4. 常に教員からの声かけを行っており、担任、学科長、校長による個人面談も行った。 | |

学生支援

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 学生支援に関してはほぼ適正に行われている。 |
| 取組状況と その分析 | 求人票を教室内に掲示し、個別の質問等に対応できる体制を整え、企業主催の就職説明会への積極的参加を促している。 専門家による校内カウンセリングは需要がない期間が長かったため休止状態となっている。 何らかの問題を抱えている学生は、その都度面談を行い、保護者とも十分に連携を取っている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 公的支援制度や本校独自のサポート制度、分割納入、奨学金については事務局に委ねているが教員も関りを強めて情報発信を行う。 問題のある学生だけでなく全学生と面談を行い、保護者との連携を強める。 アパートの紹介等を行っているが、寮の整備も目指したい。 |

| | 学生支援 | 3.5 |
|-------|--|-----|
| 1 | 就職・進路等に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| 2 | 就職説明会等を開催しているか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励しているか | 3 |
| 3 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 4 | 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか | 4 |
| 5 | 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか | 3 |
| 6 | 学生に対し、定期健康診断を実施しているか | 4 |
| 7 | 遠隔地からの学生のための寮を整備したり、またはアパート・マンションの紹介等をしているか | 3 |
| 8 | 保護者・保証人との連携は図られているか | 3 |
| 9 | 卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 求人票を常時教室内に掲示し、個別質問は教員全体で対応している。 2. 校内での就職説明会は中止したが、できるだけ多くの企業説明会へ参加するように指導している。 3. 学生の相談は担任、学科長、科内の職員、校長で行っている。 4. オリエンテーション時に説明している。 5. KACサポート制度として各種の学費減免制度がある。また、その他の奨学制度についても紹介している。 6. 胸部レントゲン、内科検診を実施している。 7. アパートの紹介等は随時行っているが、寮の整備はできていない。 8. 問題があると認められた学生的保護者とは随時連絡を取り合っている。 9. 臨床研修科や同窓会主催でのセミナー等を行い、求人情報も常に提供している。 10. 多くの高校からのキャンパス見学を受け入れ、出張授業も行いキャリア教育・職業教育に資している。 | |

教育環境

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 教育環境に関しては関係法令に適合し問題はないと思われる。 防災・安全管理に関する体制は整備されている。 実習に関しては十分に行っている。 感染対策は継続して行えている。 |
| 取組状況と その分析 | 校内の附属治療院で外来患者に対する臨床実習を十分に行っている。 海外研修に関しては安全、経済面の点から休止しているが、国内の研修は参加させている。 消防・避難訓練は年1回必ず実施しており、防災に対する意識づけはできていると思われる。 |
| 今後の 改善方策 等 | 校内の臨床実習で十分であるが、校外のインターンシップも経験させてみたい。 消防・避難訓練は自然災害も想定し、防災訓練とし実践的なものにしたい。 感染症対策を継続して行っていく。 |

| | 教育環境 | 3.7 |
|-------|---|-----|
| 1 | 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか | 4 |
| 2 | 校内外の実習、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| 3 | 防災・安全管理に関する体制は整備されているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合しており、教育上十分に設置・配置されている。 2. 校内の実習は臨床実習も含め十分な教育体制をとっている。国内の研修は継続して行っている。 3. 毎年1回消防訓練を行い、避難通路確認、消火器の使用方法確認等行っている。 | |

学生募集と受入れ

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 学生募集に関してはオープンキャンパス、高校・会場ガイダンス、出張講座などに取り組んではいるが入学生の確保には至っていない。教務による鍼灸院・鍼灸整骨院などへの訪問も開始した。社会人の入学生は現役生よりも多かったが、仕事の性質上、更なる募集に力を入れたい。 |
| 取組状況と その分析 | 体験入学・オープンキャンパスだけでなく、常に校内見学・相談等は受けつけている。 問い合わせに関しては事務局と教務で協力して十分に対応している。 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう目指しているが今年度は要件を満たしていない。 |
| 今後の 改善方策 等 | 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供や模擬授業等を継続して行い、鍼灸の魅力を直接伝えていく。 成績優良者への授業料減免も加え学生への経済的支援を考える。 |

| | 学生の受け入れと募集 | 3.9 |
|-------|---|-----|
| 1 | 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか | 4 |
| 2 | 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか | 4 |
| 3 | 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置しているか | 4 |
| 4 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |
| 5 | 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか | 4 |
| 6 | 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいるか | 3 |
| 7 | 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 高校訪問担当者が常に高校訪問や会場ガイダンスへの参加を行っており、各科の紹介、入試情報の説明を行っている。高校からの訪問も随時受け入れ情報提供を行っている。 2. 複数の高校から体験授業の要請を受けて実施している。オープンキャンパスも9回行い、教育内容・施設設備等を紹介している。また、鍼灸スペシャルDAYを設け美容とスポーツに特化したオープンキャンパスも実施した。 3. インターネット、電話等での問い合わせは事務局が受け、該当する各科の事務職員あるいは学科長等が対応している。 4. 近隣の専門学校と比べて同等の学納金である。 5. 鍼灸師科は社会人入学者が約半数を占めている。 6. 「高等教育の修学支援新制度」の対象校である。 7. KACサポート制度など、学校独自の経済的支援を行っている。 | |

社会貢献・地域貢献

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 臨床実習や附属治療院での治療を通して地域の方々の健康維持・増進に貢献している。多くの人が医療の国家資格を取得できるよう年齢・性別を問わず最大限受け入れ、多くの治療家を輩出している。 |
| 取組状況と その分析 | 附属治療院では病気の種類を問わず（WHOで禁忌となる疾患は除く）多くの患者様を受け入れて治療を行っている。臨床実習では現役3年生にも治療を担当させ、患者様にも喜んでいただき、自立して社会貢献ができる鍼灸師を養成している。 |
| 今後の 改善方策 等 | 地域へのボランティア活動が少なくなってきたので、活動数を復活させる。地方自治体の主催する健康増進事業には現在も参加しているが、より積極的に参加するようにする。 |

| | 社会貢献・地域貢献 | 3.3 |
|-------|--|-----|
| 1 | 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 2 |
| 3 | 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 附属鍼灸治療院での治療を通して社会貢献・地域貢献活動を行っている。また、お灸教室や健康美容セミナーを開催し、セルフケアの啓蒙を行っている。子育て支援施設でのスキンタッチ教室を実施した。 2. 感染症の流行後、献血活動等はあまりできていない。 3. 小郡市、東京理科大学と協定を結び、小郡市でのイベント等に参加している。 | |

令和4年度の目標と計画

| | |
|----|---|
| 目標 | (重点目標) 生涯にわたって学ぶ姿勢を持ち続け、豊かな人間性、社会性を持つ医療人を育成する。また、スポーツ・医療・介護などの分野において機能回復に貢献できる人材を育成する、 |
| 計画 | (目標達成のための具体的事業計画、行動計画) 学生の学力を早期に把握し、適宜補習を行って学習の遅れがないようにする。国家試験に向けて緊張感を持たせる。基礎実習は臨床実習との連続性を意識したものにする。 |

教育活動

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | カリキュラムはシラバスどおりに実施できた。 学習進度が遅れがちな学生への教育体制がまだ不十分である。 特に学習進度は学生により異なるので、個別対応が必要と考える |
| 取組状況と その分析 | 通常授業内の指導だけでは到達目標に達しない学生には、放課後での指導をおこなった。 さらに通常授業、授業外での指導共に、より効果的な指導に努める必要がある。 |
| 今後の 改善方策 等 | 15時50分以降の時間を利用して、学習進度が遅い学生に対する到達目標に達するための補習を実施する予定である。 また、学生の個別対応の時間と教員を確保していきたい。 |

| 教育活動 | 2.8 |
|--|---|
| 1 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしているか | 4 |
| 2 教育課程（カリキュラム）は、体系的に編成され事前に学生に開示されているか | 4 |
| 3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 4 授業評価の実施・評価体制はあるか | 2 |
| 5 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいるか | 3 |
| 6 資格・免許取得のための指導体制がとられているか | 3 |
| 7 教員数は関係法令等を満たしているか | 2 |
| 8 教員研修会等への参加を奨励・支援しているか | 3 |
| 9 校内研修（OJT）を行っていますか | 1 |
| 10 企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか | 1 |
| 11 企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか | 4 |
| 実施状況等 | <p>1. 学生便覧、シラバスに明記している。 2. 教務会議でカリキュラムは十分検討しており、内容はシラバスに明記している。 3. 国家資格取得が目標である学科なので、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが設定されており、実践的な実習を工夫して教育している。 4. 学生アンケートを実施している。 5. 国家試験を意識したカリキュラムになっている。 6. 進度が遅れた学生に対し、放課後を利用した補習をおこなって教育レベル到達の達成を図っている。 7. 専任教員3人だが、教務事務を2人雇用しており、教員としての研修を積ませている。また、増員するため募集も行っている。 8. 日本柔道整復師会学術大会への参加を毎年おこなっている。 9. 今年度はおこなっていない。 10. 今年度は行っていない。 11. 老健施設、接骨院等への臨床実習によりインターンシップをおこなっている。</p> |

学修成果

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 国家試験の結果は1名の不合格者を出した。 3年生の卒業要件は妥当なものと考えるが、1, 2年生での教育により力を入れて学力の向上について検討しなくてはいけない。 就職については、十分な情報提供と指導はできていると思うが、低学年からの意識付けは必要かもしれない。 |
| 取組状況と その分析 | 成績が低迷している学生に対し、補習等の授業外での指導は行っているが、個別での補講は学生、教員共に時間の確保が課題である。 |
| 今後の 改善方策 等 | 国家試験対策は、学生の全般的な学力低下に対応した対策の見直しと改善をおこなう必要がある。退学する学生は基礎学力の不足だけでなく、資格への理解が十分でない傾向も見られるので、1年生の時に面談等により資格への理解を深める対策も必要である。 |

| | 学修成果 | 3.8 |
|-------|---|-----|
| 1 | 国家資格取得率向上のための対策等を講じているか | 4 |
| 2 | 就職率の向上が図られているか | 4 |
| 3 | 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言する体制があるか | 4 |
| 4 | 退学率の低減が図られているか | 3 |
| 実施状況等 | 1. 全国模擬テストを受験させて各学生の実力を学生に把握させ、成績不良の学生には補習をおこなっている。 2. 3年担任教員が学生の希望を聞いてアドバイスしている。 3. 担任が就職相談に応じており、他の教員も相談に応じている。 4. 担任教員が個人面談をおこない、希望者にはカウンセリングを月に一度受けもらっている。 | |

学生支援

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 就職に関しては、学生支援はおこなわれているが、卒業生への支援体制は不十分だと考える。学費等に関しては、各種の学費減免制度を設けているが、拡充が必要かもしれない。 |
| 取組状況と その分析 | 就職関係に関しては、就職説明会を実施し、また、個別での対応もおこなった。学生の問題に対しても保護者とも連携を図りながら、迅速に問題解決に努めた。学生の精神的ケアということで、カウンセリング制度も導入開始した。 |
| 今後の 改善方策 等 | 就職については、3年生を対象にした就職説明会であるが、柔道整復師としての自覚を自覚させれる観点から低学年に実施することも必要と考える。卒業生への支援策は、セミナーなどの開催も計画したい。カウンセリングが必要な学生の早期発見に努めたい。 |

| | 学生支援 | 3.2 |
|-------|--|-----|
| 1 | 就職・進路等に関する支援体制は整備されているか | 3 |
| 2 | 就職説明会等を開催しているか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励しているか | 2 |
| 3 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 4 | 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか | 3 |
| 5 | 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか | 4 |
| 6 | 学生に対し、定期健康診断を実施しているか | 5 |
| 7 | 遠隔地からの学生のための寮を整備したり、またはアパート・マンションの紹介等をしているか | 3 |
| 8 | 保護者・保証人との連携は図られているか | 3 |
| 9 | 卒業生への支援体制はあるか | 1 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 個別質問は教員全体でおこなっている。 2. 今年度は企業説明会は開催していないが、次年度は実施したいと考えている。 3. 学生とは個人面談をおこなっており、問題があるときにはカウンセリングの紹介もしている。 4. オリエンテーション時に説明している。 5. KACサポート制度として各種の学費減免制度がある。また、その他の奨学制度についても紹介している。 6. 胸部レントゲン、内科検診を実施している。 7. アパートの紹介等は随時おこなっているが、寮の整備はない。 8. 問題があると認められた学生の保護者とは随時連絡は取っている。 9. 今年度は特に実施していない。 10. 複数の高校からキャンパス見学を受け入れ、キャリア教育・職業教育に資している。 | |

教育環境

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合しており、備品等の増加も順次おこなっている。 校外での臨床実習は、教員が施設をまわって状況を把握している。 防災・安全管理は、適切におこなわれている。 |
| 取組状況と その分析 | 実習に関して、附属関連施設や外部実習先と連携を取りながら、緊急事態が生じた場合でも、対応できるようにしている。 また、年に1度消防避難訓練をおこない、学生全員に対し防災意識を高めさせている。 |
| 今後の 改善方策 等 | 校外の接骨院での臨床実習の体制を充実させる。校内での教育との兼ね合いも含めて検討していきたい。また、カリキュラムについても検討を開始したい。 |

| | 教育環境 | 4.0 |
|-------|--|-----|
| 1 | 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか | 4 |
| 2 | 校内外の実習、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| 3 | 防災・安全管理に関する体制は整備されているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合しており、教育上十分に設置・配置されている。 2. 校内の実習は臨床実習も含め十分な教育体制をとっている。外部実習先とも十分連携を取って実習の実を上げている。 3. 毎年1回消防訓練を行い、避難通路確認、消火器の使用方法の確認等行っている。 | |

学生募集と受入れ

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 学生募集に対して積極的に高校への情報提供、相談受け入れ等をおこなっているが、定員を満たしておらず検討の必要がある。 社会人への対応は、接骨院、鍼灸治療院等への情報提供を増やす必要がある。 経済的に苦しい学生も増えてきているので、経済的支援の検討が必要である。 |
| 取組状況と その分析 | オープンキャンパスを開催し学校見学や相談といった対応もしている。 ホームページおよびSNSを充実させる必要がある。 教育給付金等の制度の利用ができるよう目指していくなくてはならない、また、社会人への情報提供がまだ十分ではない。 |
| 今後の 改善方策 等 | 柔道整復師という職業認知を高める必要があるため、高校行事等への積極的な参加を考えたい。 また、社会人への情報提供について、卒業生が勤務する接骨院等への情報提供、ホームページやSNSを利用した情報提供を展開していきたい。 |

| | 学生の受け入れと募集 | 3.9 |
|-------|---|-----|
| 1 | 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか | 4 |
| 2 | 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか | 4 |
| 3 | 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置しているか | 4 |
| 4 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |
| 5 | 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか | 4 |
| 6 | 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいるか | 3 |
| 7 | 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 会場ガイド、高校訪問に担当者が随時行って情報提供している。 2. 複数の高校から体験入学の要請を受けて実施している。オープンキャンパスでは、教育内容・施設設備等を紹介している。 3. インターネット、電話等での問い合わせは事務局が受け、該当する各科の事務職員あるいは学科長等が対応している。 4. 近隣の専門学校と比べて学納金が低価格である。 5. 柔道整復師科は社会人入学者は全体の約20%を占めている。また、シニア優遇制度、シングルマザー・シングルファザー優遇制度、トリプルライセンス制度、有資格者制度がある。 6. 入学生の確保がまだ十分ではないので、まずはその取り組みを行っている。 7. KACサポート制度、KAC奨学金など学校独自の経済的支援をおこなっている。 | |

社会貢献・地域貢献**評価**

| | |
|---------------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 社会貢献・地域貢献については、十分とはいえない。過去には高校への救護ボランティアや運動クラブへの運動指導などの実績があるので、来年度は検討していく。 |
| 取組状況と その分析 | 附属鍼灸治療院と一緒に市町村イベントに参加し、地域住民への健康意識増進のお手伝いをしているが、それのみでは十分とはいえない。学生は経済的な問題でボランティア活動がおこないづらい状況であるが、地域への運動指導等はできるのではないか。 |
| 今後の 改善方策 等 | 小郡市との健康イベントに対し附属鍼灸治療院と連携して、今後も継続的に重ねていけるよう努めなければならない。 高校訪問時に救護ボランティアや運動クラブへの運動指導の提供ができる事を示していく。 |

| | 社会貢献・地域貢献 | 2.0 |
|--------------|--|------------|
| 1 | 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 2 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 2 |
| 3 | 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っているか | 2 |
| 実施状況等 | 1. 献血活動の参加を行っている。 2. 献血活動の参加等を奨励しているが、柔道整復師科独自のボランティアはおこなっていない。 3. 過去に実績がある救護ボランティア活動等の広報活動をおこなっていく。接骨院と連携し地域貢献につながる活動を模索している。 | |

法令等の遵守

評価

| | |
|------------------|--|
| 評価結果 (総括) | 専修学校設置基準及び関係法令は遵守している。また、就業規則にハラスメント防止規定、個人情報保護を含む必要な諸規定を整備し運用している。 自己点検評価は、現在は学科長が点検評価したものを校長が取りまとめており、継続的な自己点検評価システムの構築が必要と考えている。 |
| 取組状況と その分析 | 就業規則等の見直しは、不断に行っており、令和6年4月1日付けで変更を行う。 自己点検評価については、評価項目の整理及び評価組織の体系化を取り組んでいる。 |
| 今後の 改善方策 等 | 今後の就業規則等の見直し等は、法令を遵守し社会保険労務士、弁護士と協議を行い見直しに取り組む。 自己点検評価については、自己点検評価委員会（仮称）の設置を検討している。 |

| | 法令等の遵守 | 3.1 |
|-------|--|-----|
| 1 | 専修学校設置基準及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされているか | 4 |
| 2 | 学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用しているか | 4 |
| 3 | セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行しているか | 4 |
| 4 | 個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定しているか | 3 |
| 5 | 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか | 3 |
| 6 | 自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されているか | 3 |
| 7 | 実施のための組織体制を整備し、定期的に取組み問題点の改善を行っているか | 2 |
| 8 | 自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか | 2 |
| 実施状況等 | 1. 本校は設置基準を満たしており、関係法令等を遵守し、適正に運営している。 2. 本校は就業規則を定めており、必要な諸規定を包含している。 3. 九州アカデミー学園ハラスメント防止規定を作成し、ハラスメント委員会がすべてのハラスメントに対応している。 4. 就業規則の禁止事項に記載し、学生便覧には「ソーシャルメディア利用のためのガイドライン」を学内諸規定の章に記載している。 5. 個人情報保護については、月に1回開催される学科等会議で折に触れて注意を喚起している。特に学生の個人情報は、注意を払うように意識づけを行っている。 6. 現在は、学科長が各科の自己点検評価を行い、校長が取りまとめるルールで行っているが、明文化はされていない。 7. 本校は自己点検評価を5. で示したルールで行っているが、アドホック的な取り組みであるため、継続的な取り組みはできていない。 8. ホームページには総括のみ掲載している。 | |

財務

評価

| | |
|---------------|--|
| 評価結果 (総括) | 今期の学納金等の収入は、前年度の前受金の減少等によりやや減少しております。昨今の経済情勢により物価が高騰しておりますが、経費は大幅に増加することなくコントロールされております。少子化等の影響により学生の募集に苦戦しており学納金の前受金が減少しております。人件費・経費は、予算と乖離なく適切な予算の執行が行われております。 |
| 取組状況と その分析 | 今期は、古野校舎の移転による田代校舎の改装工事により固定資産の支出が増加しております。歯科技工本科の移転による田代校舎の改装工事のために借入金による資金調達をしております。田代校舎の改装工事のため借入金が増加しておりますが、古野校舎から田代校舎への移転により校舎が集約され学校運営が効率的になり管理経費などの減少が期待されます。 |
| 今後の 改善方策等 | 予算・収支計画・設備投資が有効、かつ、妥当なものとなっているかを監事に指導を受け顧問税理士などに適切な会計処理がされているかのチェックを受けていきます。学生の応募などの動向を鑑み学校運営の効率化を図りながら募集・設備等の投資など計画を行っていき人件費・経費・固定資産の支出の最適化を行っていきます。 |

| | 財務 | 4.0 |
|-------|---|-----|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| 2 | 予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっているか | 4 |
| 3 | 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか | 4 |
| 4 | 会計監査体制のルールが明確化されているか | 4 |
| 5 | 会計監査の結果報告が文書化されていますか | 4 |
| 6 | 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど体制整備はできているか | 4 |
| 実施状況等 | 1. 設備投資の計画及び予算・収支計画の執行状況を定期的に検証している。 2. 各科から予算要望を集めて適切な予算編成を行っている。 3. 税理士の指導を受けながら会計処理を行っている。 4. 経理から毎月、税理士に会計資料をチェックを受ける体制となっている。 5. 監事に適正に行われているかのチェックを受けている。 6. 財務情報は理事会・評議員会では資料を配布・公開しており、ホームページ公開も行っている。 | |

学校運営

評価

| | |
|------------------|---|
| 評価結果 (総括) | 学校運営について必要な規定やシステムは整えているが、運用面での改善は必要と考えております。必要に応じて再度点検等を行い、整備する必要がある。 教務システムは運用面での検証を行わなければならない。 |
| 取組状況と その分析 | 学校運営について、運営規定等の各種規定は整備しているが、明文化できていないものもある。 事業計画や執行状況も協議結果を運営会議メンバーでは共有できているものの、明文化したものはない。 教務システムを一昨年導入し、学籍管理、教務管理等は順調に運営されているが、教員からの改善要求も出ている。 また、事務については学校運営に強い公認会計士と契約し、規定等の整備等を行っているところである。 |
| 今後の 改善方策 等 | 各種規定の整備を一層進める必要がある。令和5年度に新規契約した弁護士、社会保険労務士と協議しつつ整備・改善を進めていく。 教務システムについては、機能を生かしきれてない部分があるので運用法の改善を検討する。また、運用で改善できない部分については、機能追加も検討する。 |

| | | |
|-------|---|-----|
| | 学校運営 | 3.3 |
| 1 | 目的等に沿った運営方針は定められているか | 3 |
| 2 | 事業計画を作成し、それに伴う予算が組まれているか | 3 |
| 3 | 事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制があるか | 4 |
| 4 | 寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が有効に機能しているか | 4 |
| 5 | 人事・給与規程等が整備され、運用されているか | 4 |
| 6 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 2 |
| 実施状況等 | 1. 運営方針と明記されたものはないが、月に1度開催される運営会議において目的に沿った運営方針を協議・確認している。 2. 運営会議において事業計画が策定され、事務局で予算を組んでいる。 3. 事業計画の執行状況は担当者が運営会議において報告し、方針等を協議確認している。 4. 寄附行為等の運営規定は整備され、規定に従って理事会・評議員会は開催されている。 5. 学園の就業規則に人事規定、給与規定が記載され、整備・運用されている。 6. 令和1年度より教務システムを導入し、学生の教務管理、学生募集管理を行っている。 | |

令和5年度 自己点検・自己評価資料 【総括】

九州医療専門学校

| | 評価項目 | 自己評価点 | 自己点検・自己評価総括 |
|----|-------------------|-------|---|
| 1 | 教育理念・目的は、定められているか | 3.8 | 本校は、開学当初より校訓、教育理念、教育目的を定め、学生便覧にも記載しており、育成人材像も医療・福祉のスペシャリストと明確に示している。また、三つのポリシーについても確立している。 周知活動については、入学式、卒業式、オリエンテーション、保護者会などで周知はしているが、周知方法の拡張を検討していく。 |
| 2 | 教育活動 | 3.2 | カリキュラムについては教育目的に沿った国家試験に合格できる適切な構成になっている。 対面授業を重視した講義・実習を行っている。 卒業レベルに到達しない学生に対しては、放課後等の時間を使い補習に取り組み、学力の向上に努めている。 |
| 3 | 学修成果 | 3.8 | 学修成果としての国家試験合格率は、ほぼ100%を達成している。国家試験対策については、各科独自の対策を行っており、一定の成果が出ていると考えている。一方、近年の学生全般にみられる学力の低下もあり、卒業要件に達しない学生も一定数いることも事実である。低学年からの基礎学力の向上や職業への意識付け、生活指導が必要な学生への対応など検討課題も多い。 |
| 4 | 学生支援 | 3.4 | 本校は担任制を継続しており、学生の就学状況等に関し、適宜個人面談、保護者面談を行い支援しているが、今後問題を抱える学生が増えることを想定し、学生支援体制を強化しなければならない。 就職については、希望する学生は就職できるため、就職先の開拓は必要ないが、就職説明会の開催を継続していき学生の参加を促していく。 |
| 5 | 教育環境 | 3.8 | 施設・設備、備品、器具等は関係法令に適合しており、順次新しい備品の更新も行っている。 校内の実習においては、十分な教育環境のもと適切に行われている。 また、臨床実習が必要な科では、校内付属治療院、校外の治療院、大学病院、高齢・障害者施設、歯科医院と豊富な実習先で適切な実習が行われている。 |
| 6 | 学生の受け入れと募集 | 3.9 | 高校訪問、ガイダンス等の募集活動を行っているが、オープンキャンパスの参加者の増加にはなかなか繋がらないのが現状である。今後新たに組織した広報委員会を中心に広報活動を進めていく。また、SNSを用いた職業の魅力、教育内容、学校生活の紹介等の情報発信に努める。また、社会人の受け入れを増やすために診療所、治療院等への募集活動も増やしていく。 |
| 7 | 社会貢献・地域貢献 | 2.3 | 今年度は、前年度までのコロナ禍の影響が残り、ボランティア活動は制限されたが、献血等は例年通りに行つた。今年度以降、コロナ禍で中止していた、お灸教室、高校への救護ボランティアや運動クラブへの運動指導などをを行っていきたい。 |
| 8 | 法令等の順守 | 3.1 | 専修学校設置基準及び関係法令は遵守している。また、就業規則にハラスメント防止規定、個人情報保護を含む必要な諸規定を整備し運用している。 就業規則等の見直しは、社会保険労務士、弁護士と協議を行い見直しに取り組んでいる。 |
| 9 | 財務 | 4.0 | 今期の収入は、前年度の前受金の減少によりやや減少しているが、経費は大幅に増加することなくコントロールできている。少子化の影響により学生募集に苦戦しており校納金の収入が減少している。また、令和5年度は歯科技工士科の移転のため借入を行つたが、今後は校舎の集約により学校運営が効率的になり管理経費などの減少が期待できる。 |
| 10 | 学校運営 | 3.3 | 学校運営について必要な規定やシステムは整えているが、令和5年度に新規契約した弁護士、社会保険労務士と協議しつつ規定等の整備・改善を進めていく。また、財務については学校運営に強い公認会計士と契約し、適切な予算の執行を行つてある。 教務システムについては、機能を生かしきれてない部分があるので運用法の改善を検討する。 |